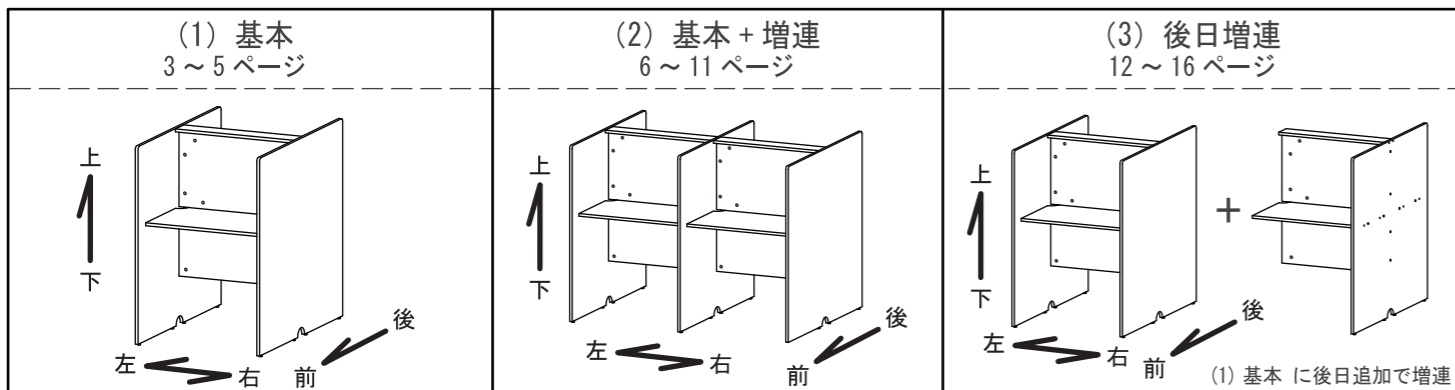


RFPCブース 対面タイプ W800×D1200 組立説明書

RFPCT-W80NA2 (WH)-T, RFPCT-D12 (AD) NA2 (WH)-SP

組立説明書は、(1)～(3)の3種類あります。下記をご参照いただき、適合する組立説明書をご覧ください。



この商品は4つに分けて梱包されています。
 梱包1...RFPCT-D12NA2 (WH)-SP 梱包3...RFPCT-D12ADNA2 (WH)-SP
 梱包2...RFPCT-W80NA2 (WH)-T 梱包4...NC-1529-BK(コンセント梱包) ※コンセント付きを購入した方のみ、この梱包が付きま。

基本部材 (1台分)

※部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合は配送いたします。電話にて部品名をお伝えください。

梱包1 RFPCT-D12NA2 (WH)-SP	梱包2 RFPCT-W80NA2 (WH)-T			
Ⓐ 共通側板 ×1 アジャスター取付済 ※内面のみに、ナットが埋め込まれています。	Ⓑ 天板 ×1 木ダボ取付済	Ⓒ 背板 ×1 前面	Ⓓ 幕板 ×1 前面 上 下	Ⓔ 貫板 ×1 裏 木ダボ取付済
			Ⓕ ジョイントシャフト ×22 	Ⓖ 穴隠しシール ×14

増連部材 (1台分)

増連を行う毎に増連部材が必要となります。

梱包3 RFPCT-D12ADNA2 (WH)-SP	梱包2 RFPCT-W80NA2 (WH)-T			
Ⓕ 増連側板 ×1 短い 埋込ナットと天板の縁の距離が短い 長い 埋込ナットと天板の縁の距離が長い アジャスター取付済	Ⓑ 天板 ×1 木ダボ取付済	Ⓒ 背板 ×1 前面	Ⓓ 幕板 ×1 前面 上 下	Ⓔ 貫板 ×1 裏 木ダボ取付済
			Ⓕ ジョイントシャフト ×22 	Ⓖ 穴隠しシール ×14

重要 ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法

本商品には **ジョイントシャフト** と **カムロック** を使用して組み立てを行う工程がございます。以下の説明を最後までよくお読みのうえ、組み付けを行ってください。

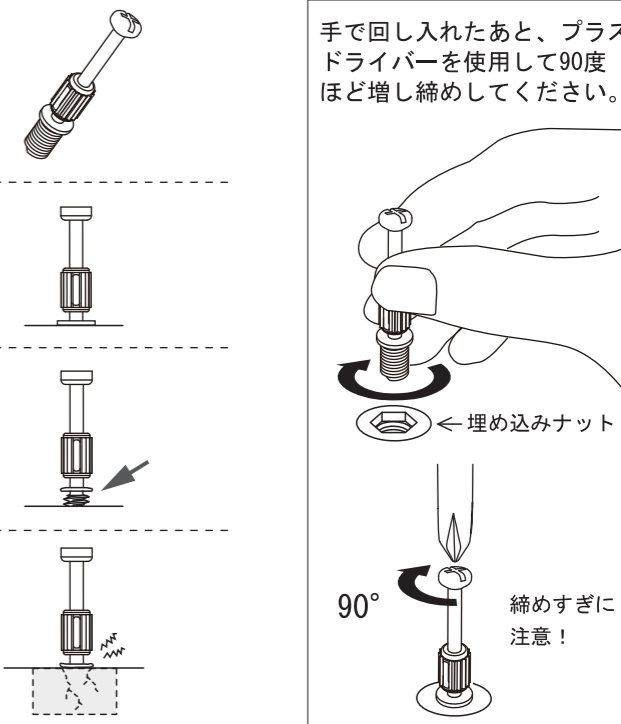
1. ジョイントシャフトの取り付け

ジョイントシャフトを板面の埋め込み(鬼目)ナットに回し入れます。

○ 適切な取り付け
 ボルト部分のみが完全に隠れるように回し入れてください。

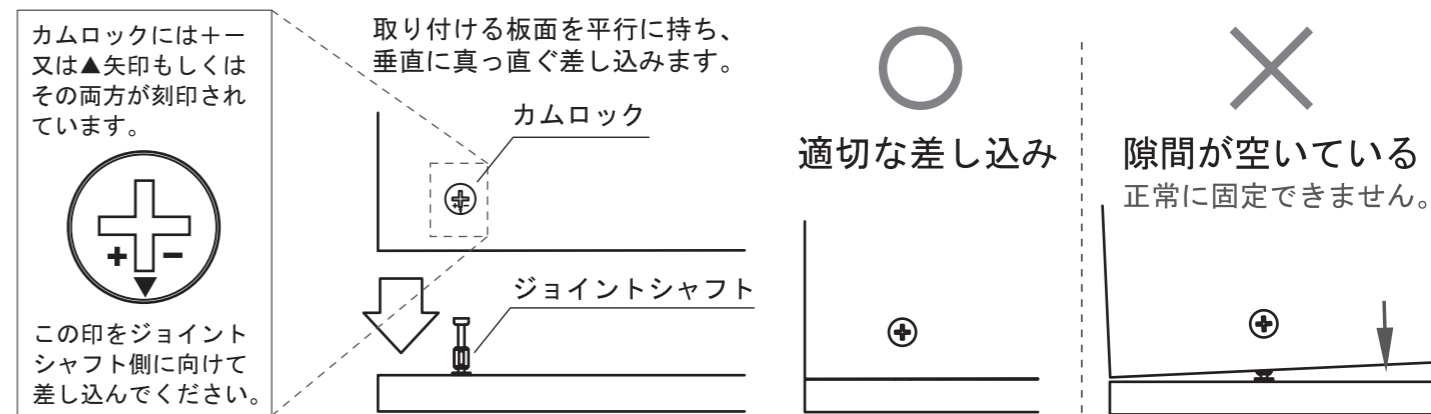
✕ 最後まで締まっていない
 抜けや歪みの原因となります。

✕ 締めすぎ
 ジョイントシャフトや埋め込みナットが破損する恐れがあります。



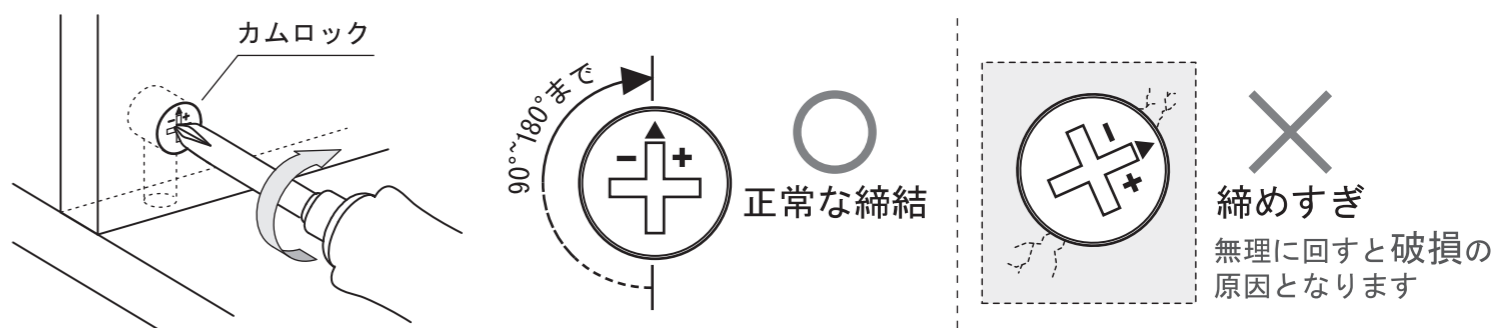
2. ジョイントシャフトの挿入

板面に取り付けられているカムロックに、ジョイントシャフトを差し込みます。



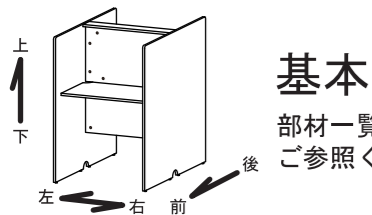
3. ジョイントシャフトとカムロックの固定

プラスドライバーを使用し、カムロックを時計回りに回転させます。回し始めから90°～180°程度で、カムロックがジョイントシャフトとかみ合って固定されます。



(1) 基本

組立の目安
25分~

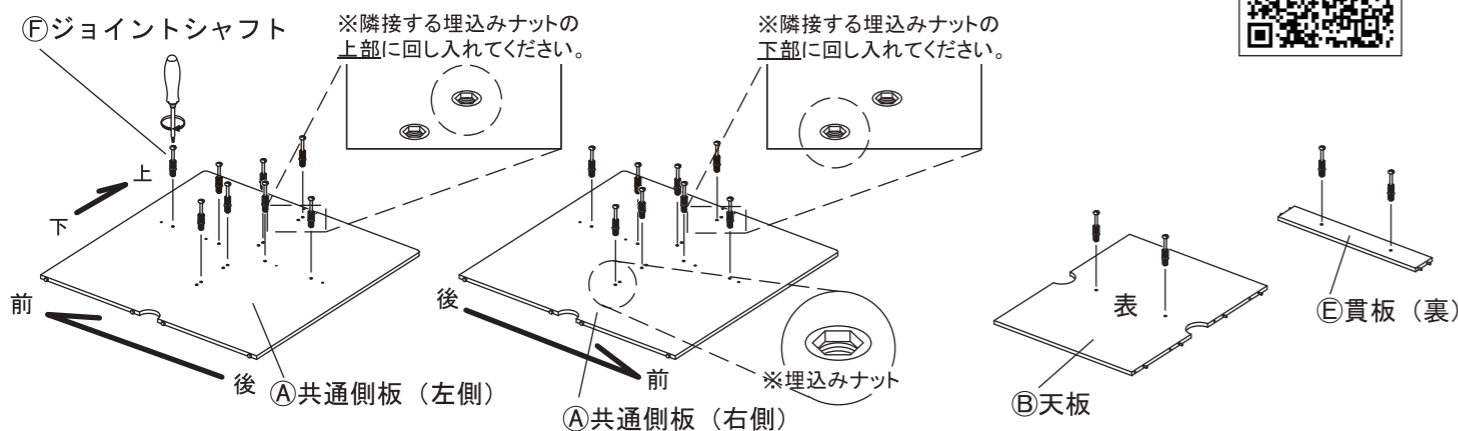


基本

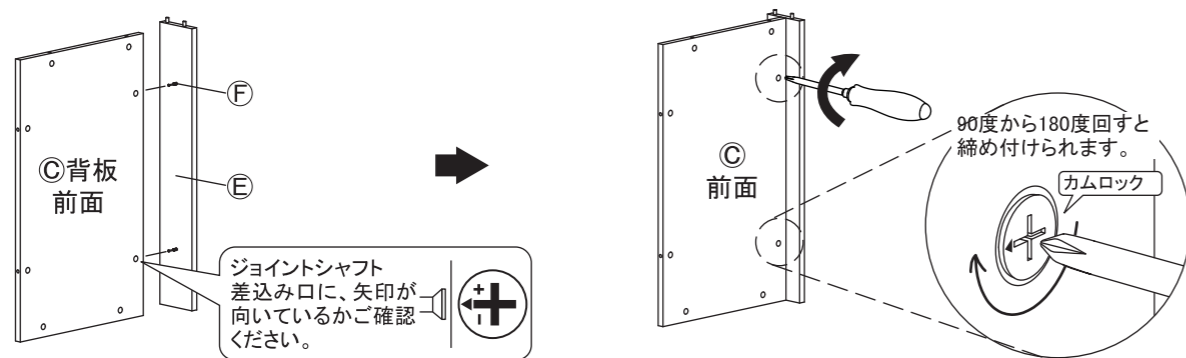
部材一覧の「基本部材」をご参照ください。

- 1** ①共通側板・②天板・③貫板に④ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

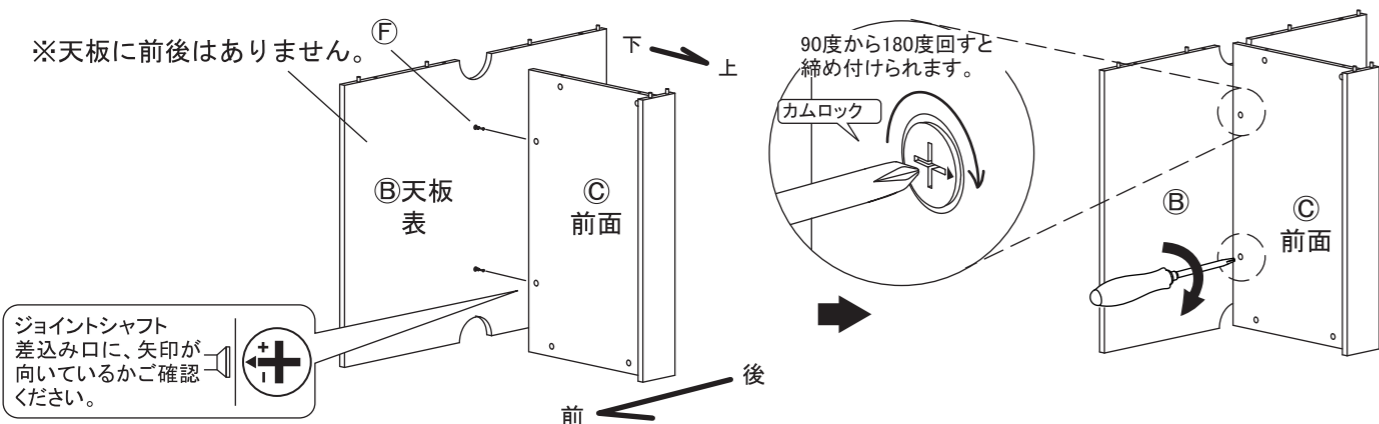
⚠ 各①共通天板に回し入れる④ジョイントシャフトは、左右の組み立て向きによって取り付け位置が異なりますのでご注意ください。



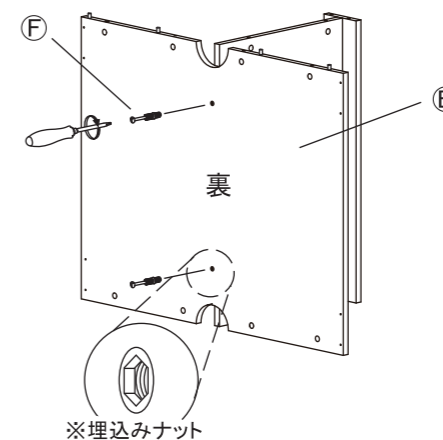
- 2** ③貫板の④ジョイントシャフトを⑤背板に差し込みます。その後、⑤背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



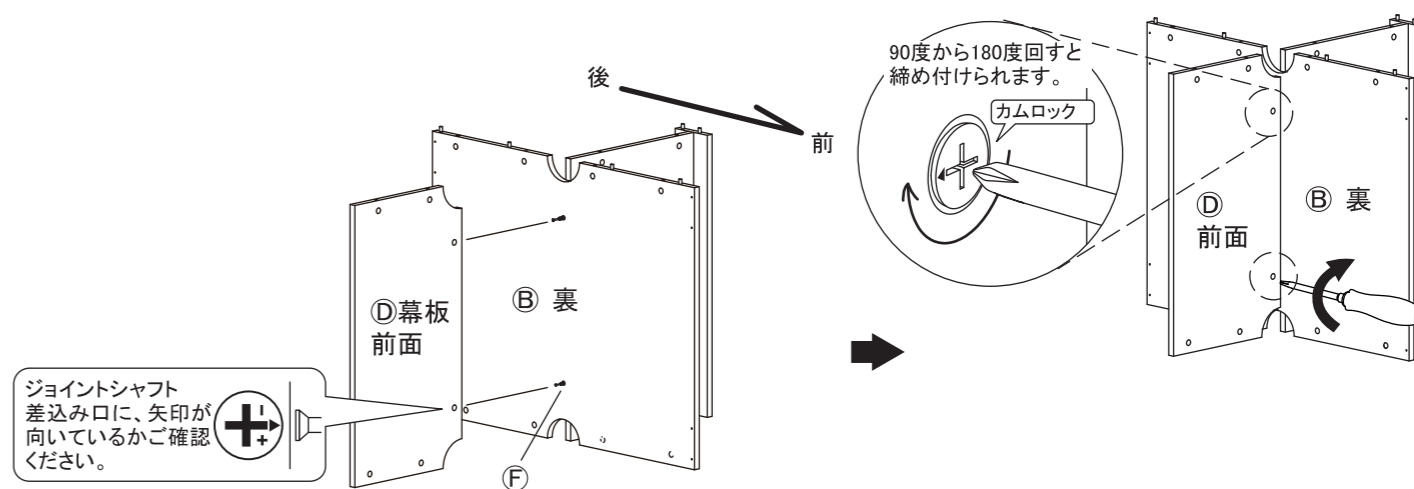
- 3** ②天板の④ジョイントシャフトを②で組み付けた⑤背板の横穴に差し込みます。その後、⑤背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



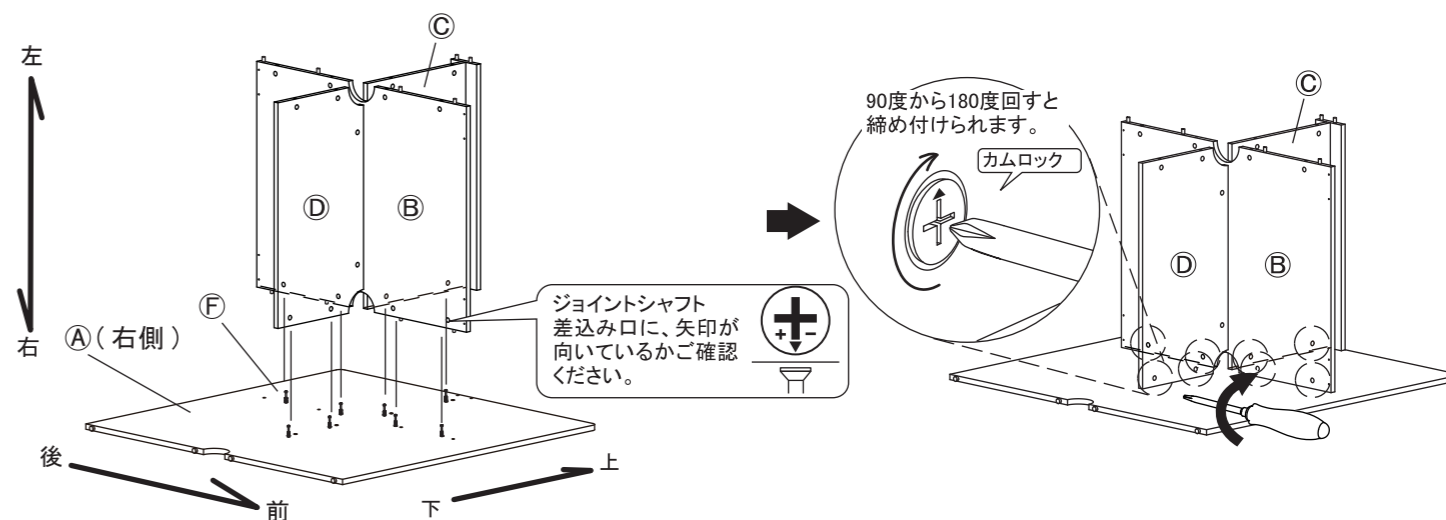
- 4** ②天板の裏側に④ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



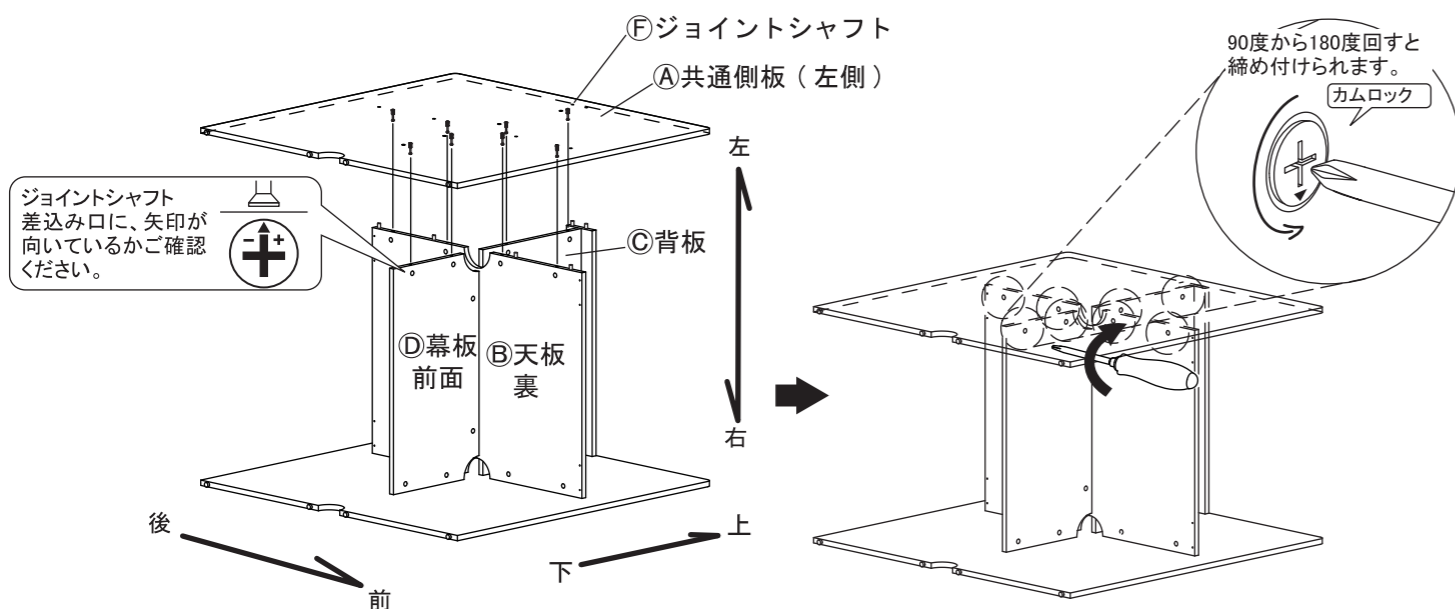
- 5** ②天板の④ジョイントシャフトを⑥幕板の横穴に差し込みます。その後、⑥幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



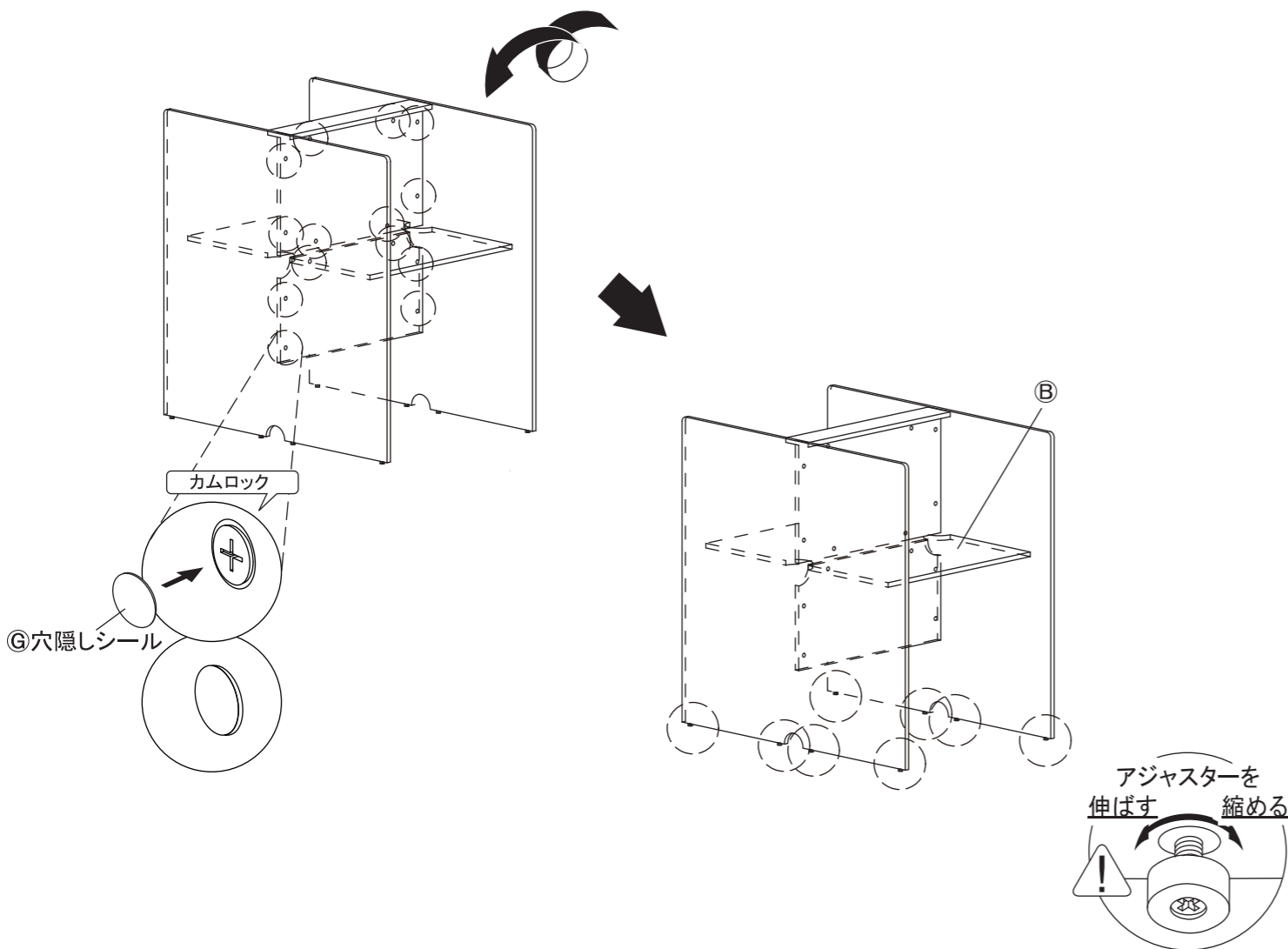
- 6** ①共通側板 (右側) の④ジョイントシャフトを⑤で組み立てた②天板・⑤背板・⑥幕板の横穴に差し込んでください。その後、カムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



7 反対側の(A)共通側板(左側)の(F)ジョイントシャフトを6で組み立てた(B)天板・(C)背板・(D)幕板の横穴に差し込んでください。その後、カムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

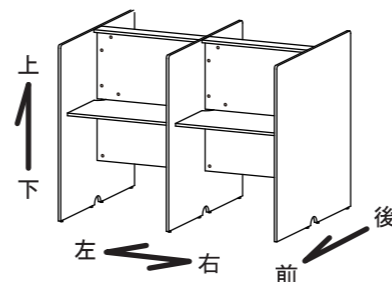


8 2人以上で慎重に起こし、本体のカムロックに(G)穴隠しシールを貼り付けます。その後、(B)天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



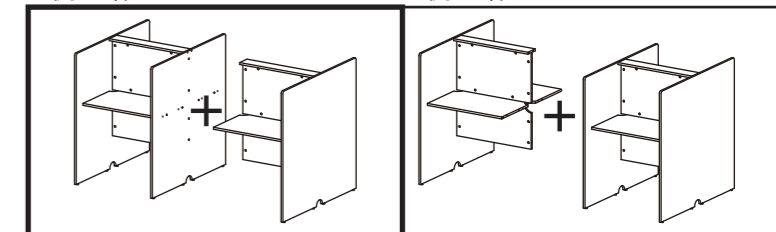
(2) 基本+増連

組立の目安
45分~



右側に増連

左側に増連



基本+増連

部材一覧の「基本部材」をご参照ください。

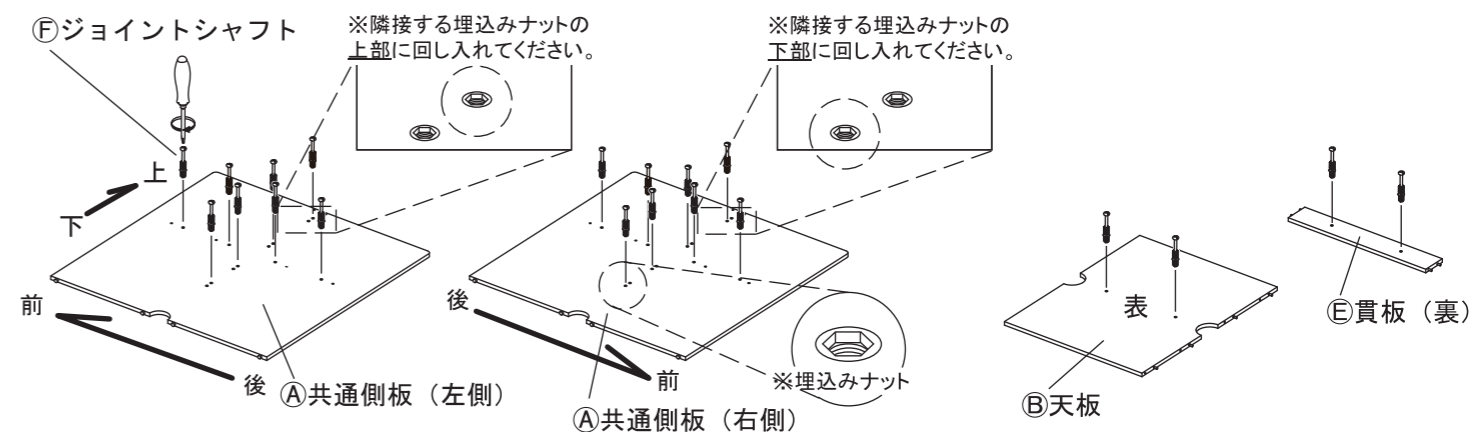
以下では、右側に増連するように組み立てを行います。
 (左側にも増連が可能です。)

1 (H)増連側板・(A)共通側板・(B)天板(表)・(E)貫板に(F)ジョイントシャフトを回し入れてください。各(A)共通側板に回し入れる(F)ジョイントシャフトは、左右の組み立ての向きによって取り付け位置が異なりますのでご注意ください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



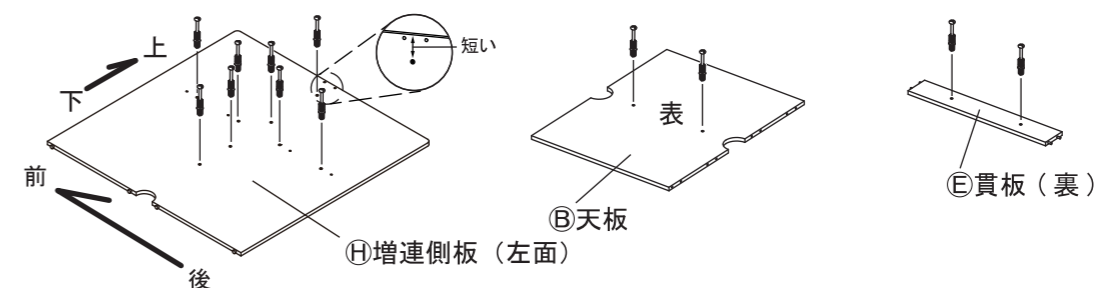
基本用部材

⚠ 各(A)共通天板に回し入れる(F)ジョイントシャフトは、左右の組み立て向きによって取り付け位置が異なりますのでご注意ください。



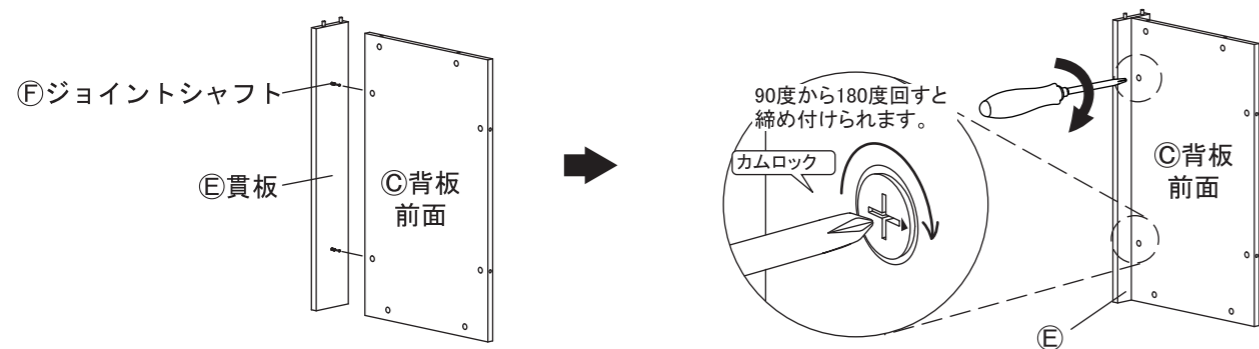
増連用部材

複数台増連する場合は、増連台数分の(B)天板・(E)貫板・(H)増連側板に(F)ジョイントシャフトを回し入れてください。

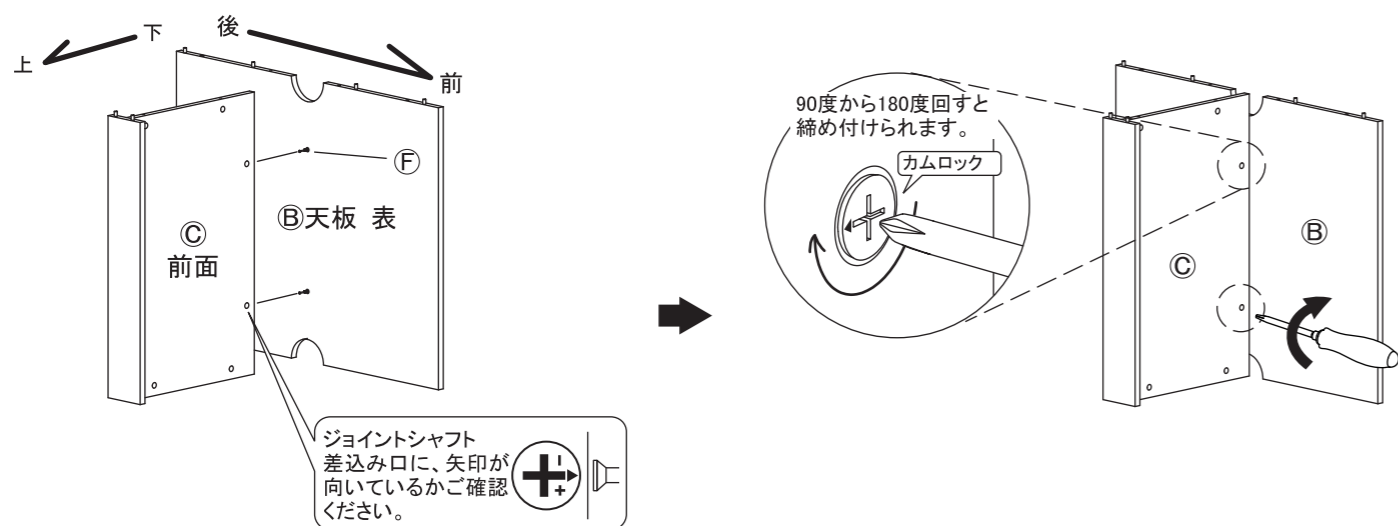


増連台数分の(B)天板・(E)貫板・(H)増連側板を組み付けてください。

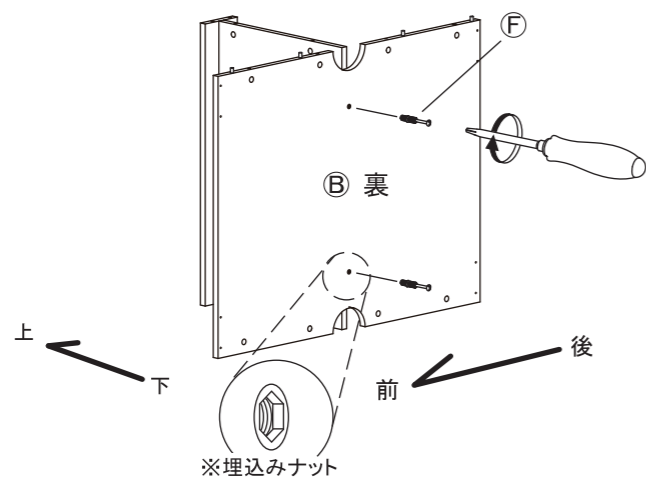
- 2** 先ず、増連ユニットを組み立てます。
 ⑤貫板の⑥ジョイントシャフトを③背板に差し込みます。その後、③背板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



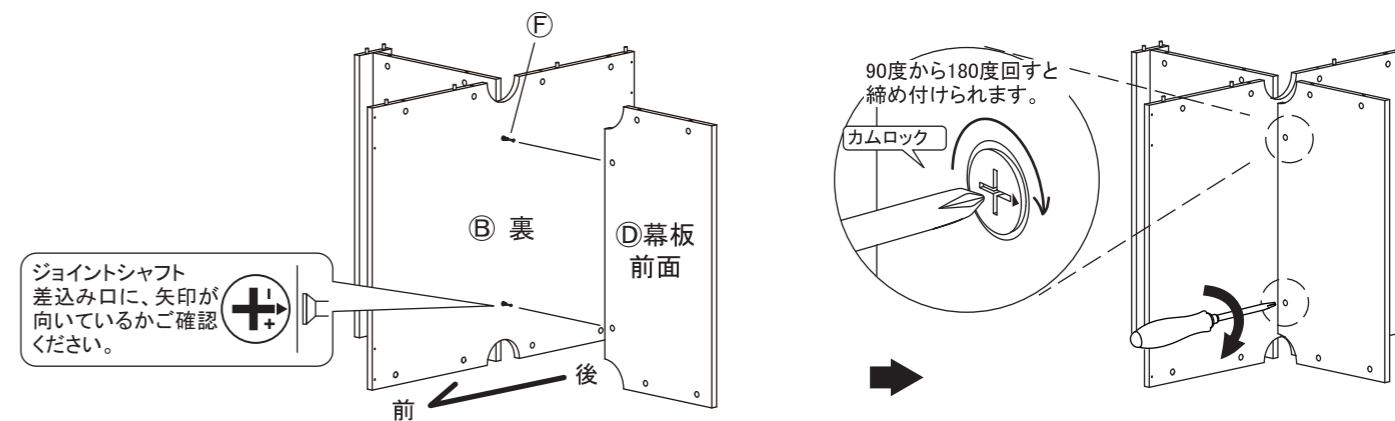
- 3** ⑧天板の⑥ジョイントシャフトを2で組み付けた③背板の横穴に差し込みます。その後、③背板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



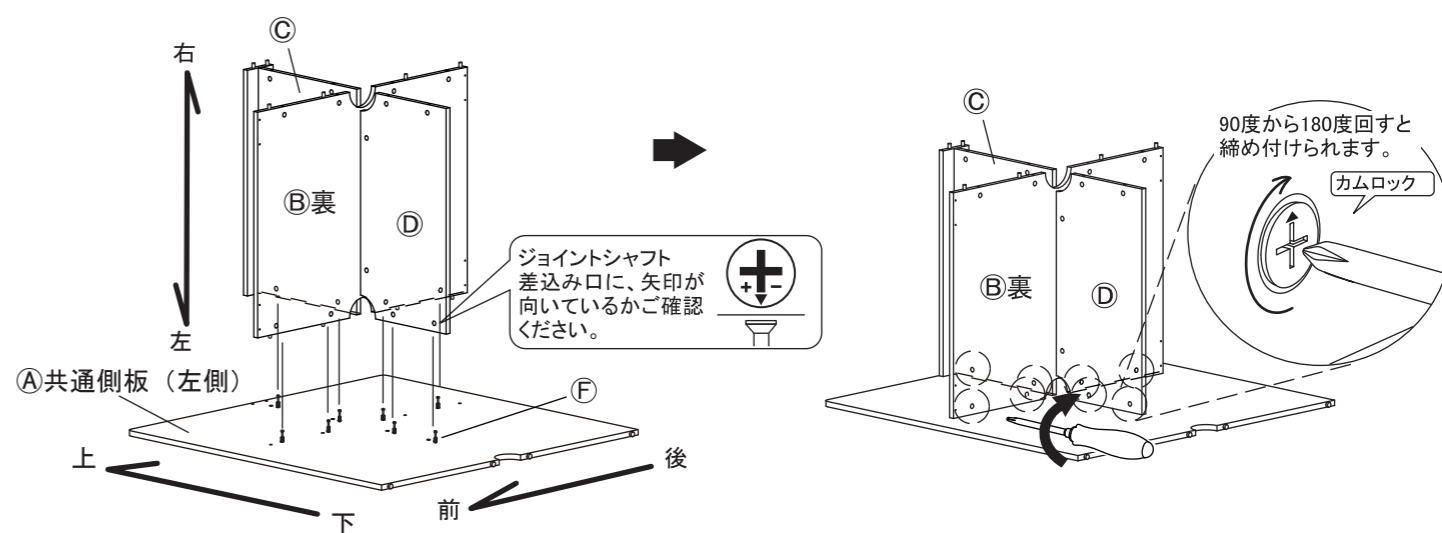
- 4** ⑧天板の裏側に⑥ジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



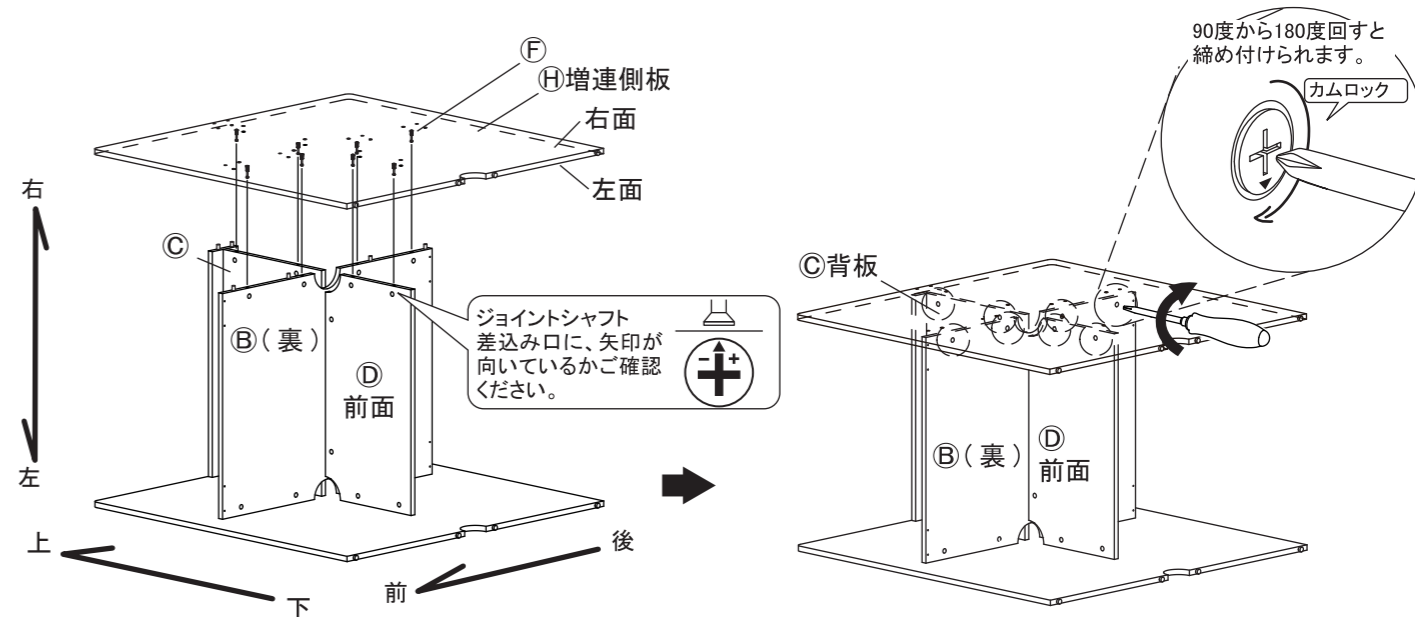
- 5** ⑧天板の⑥ジョイントシャフトを④幕板の横穴に差し込みます。その後、④幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



- 6** ①共通側板の⑥ジョイントシャフトを5で組み立てた⑧天板・③背板・④幕板の横穴に差し込んでください。その後、カムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

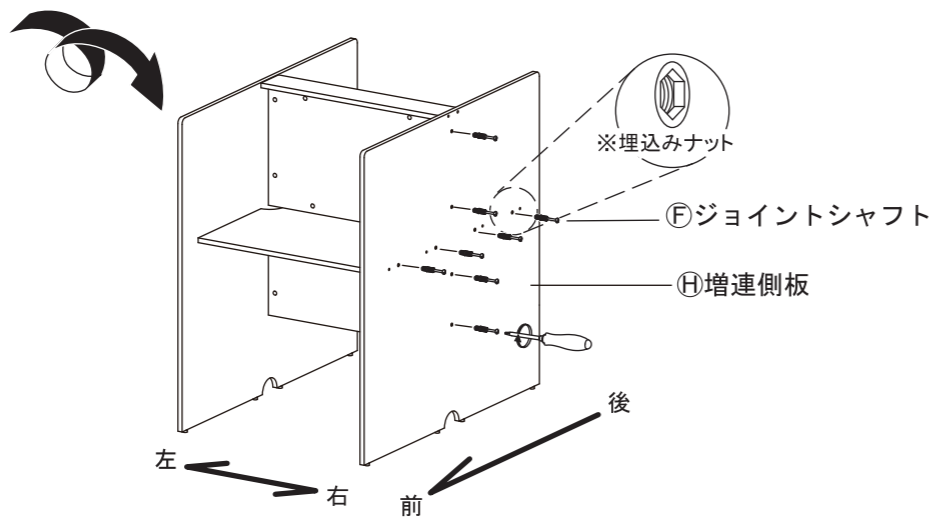


- 7** 反対側の⑧増連側板の⑥ジョイントシャフトを6で組み立てた⑧天板・③背板・④幕板の横穴に差し込んでください。その後、カムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



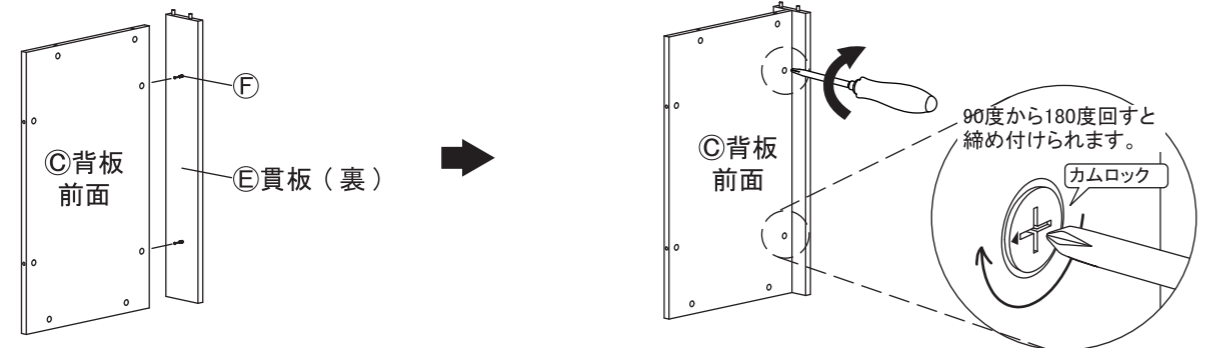
8

7で組み立てた本体を2人以上で慎重に起こしてください。
 その後、H増速側板にFジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



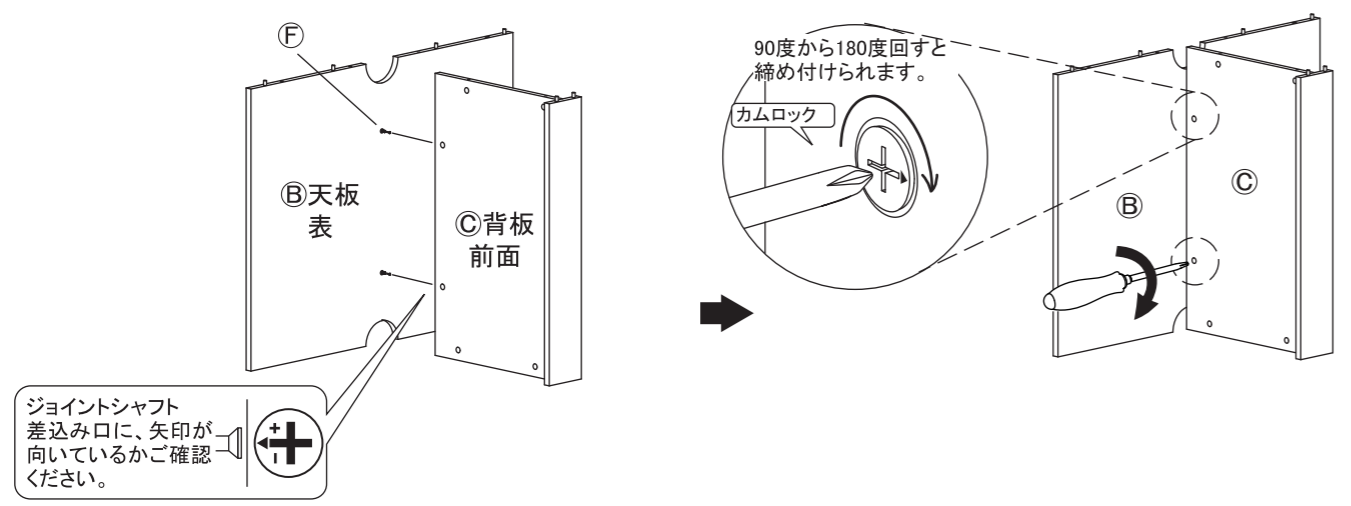
9

E貫板のFジョイントシャフトをC背板の横穴に差し込みます。
 その後、C背板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



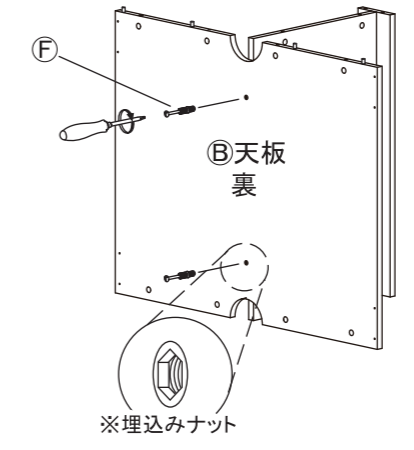
10

B天板のFジョイントシャフトを9で組み付けたC背板の横穴に差し込みます。
 その後、C背板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



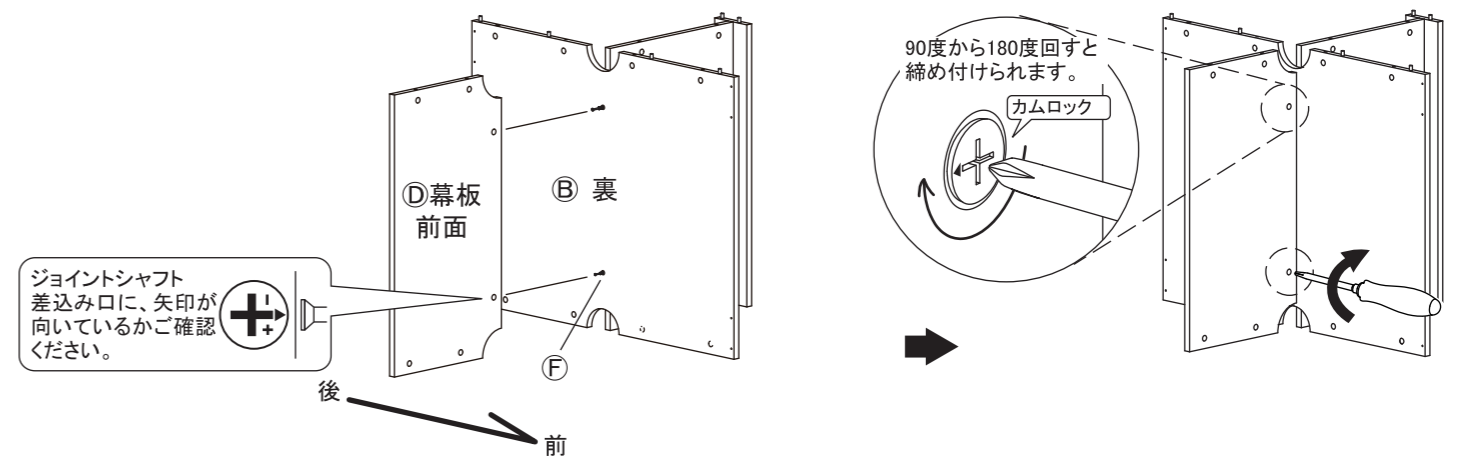
11

B天板の裏側にFジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



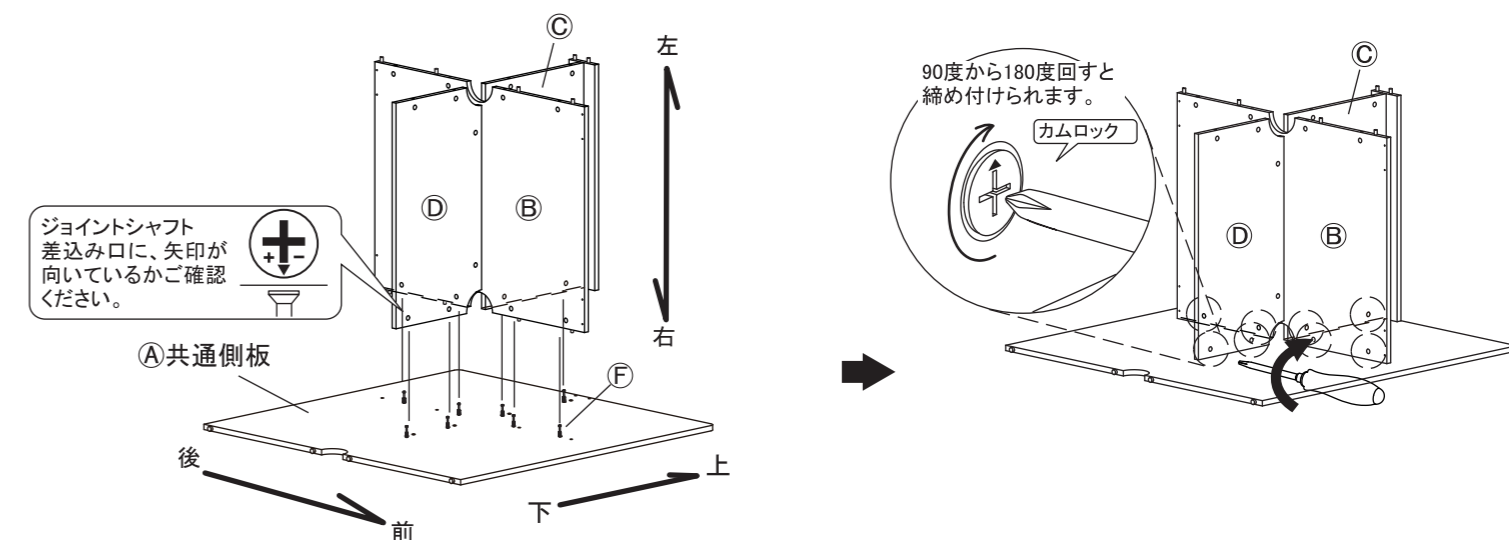
12

B天板のFジョイントシャフトをD幕板の横穴に差し込みます。
 その後、D幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



13

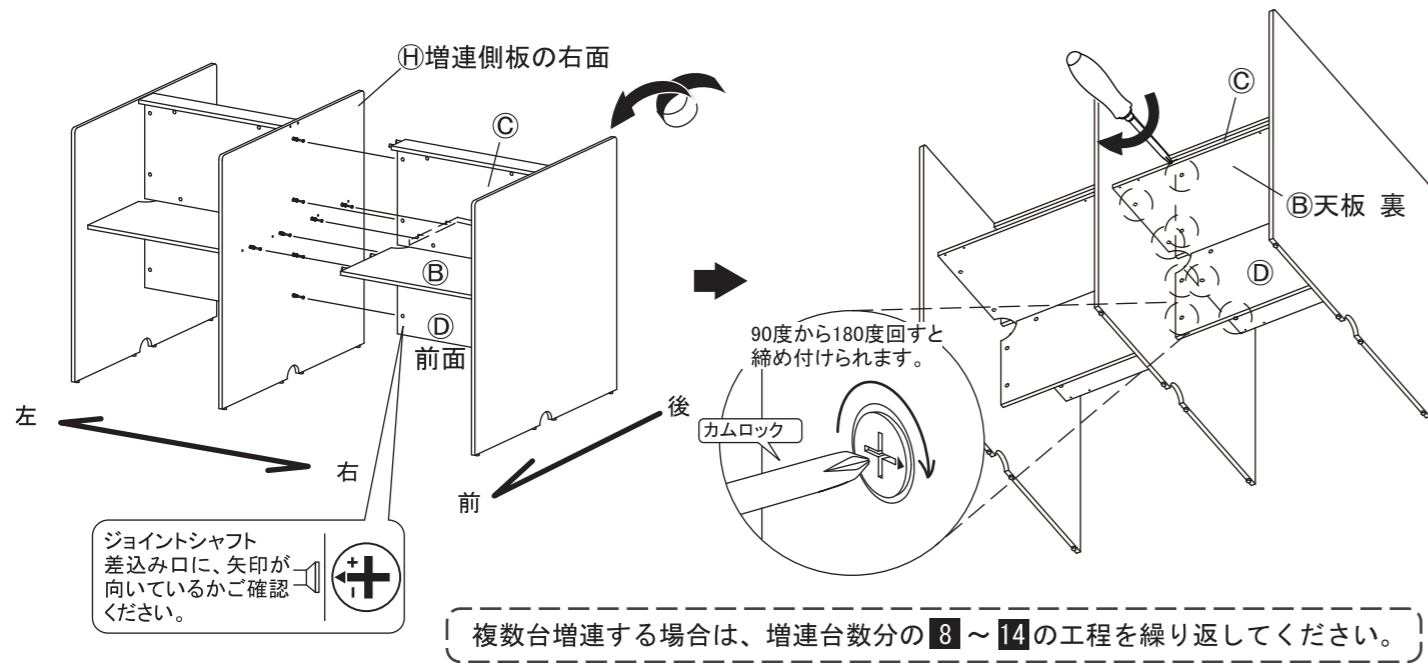
A共通側板のFジョイントシャフトを12で組み立てたB天板・C背板・D幕板の横穴に差し込んでください。
 その後、カムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



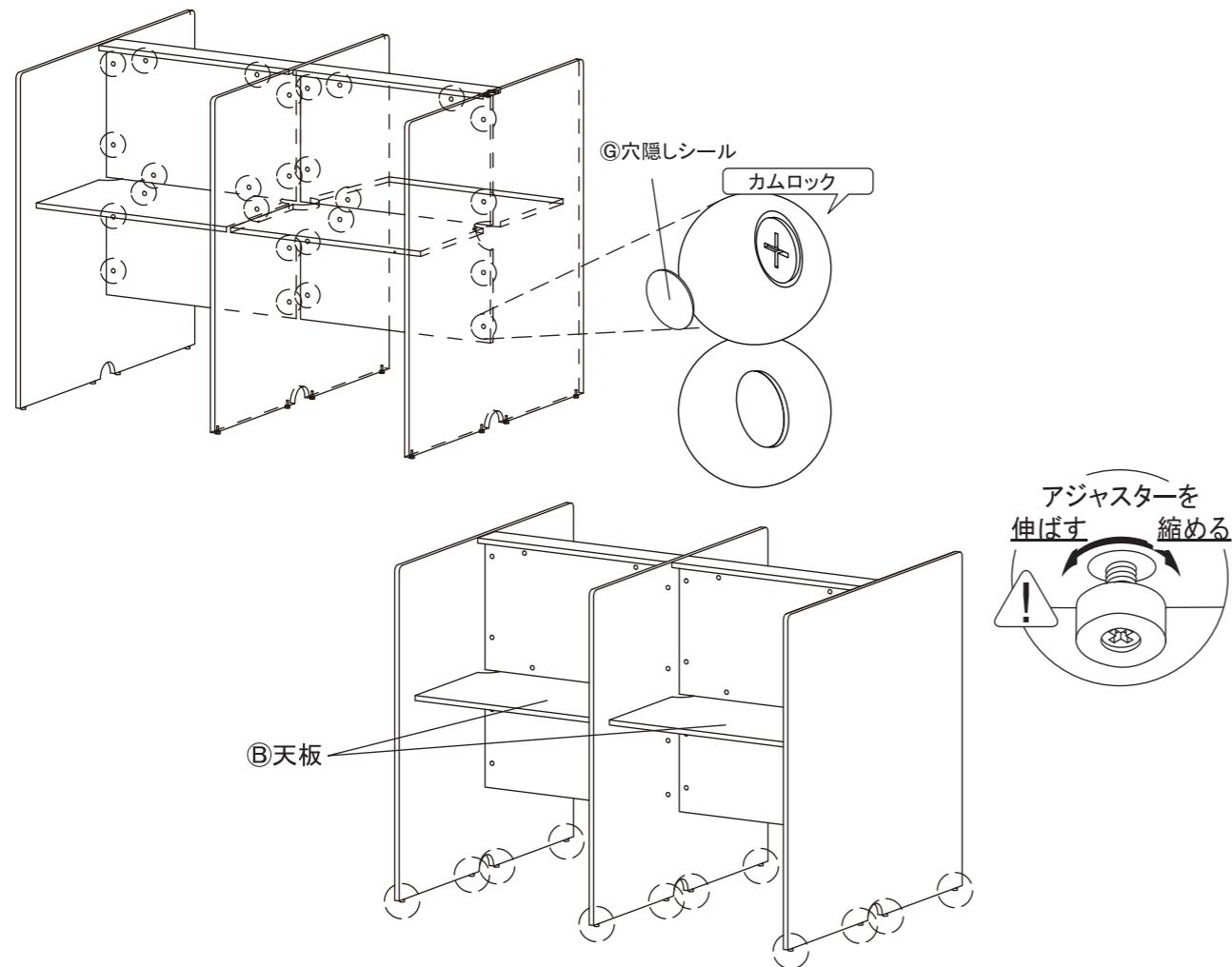
複数台増速する場合は、増速台数分の8～14の工程を繰り返してください。
 複数台の時は、A共通側板ではなくM増速側板で組み立てを行ってください。

20240524

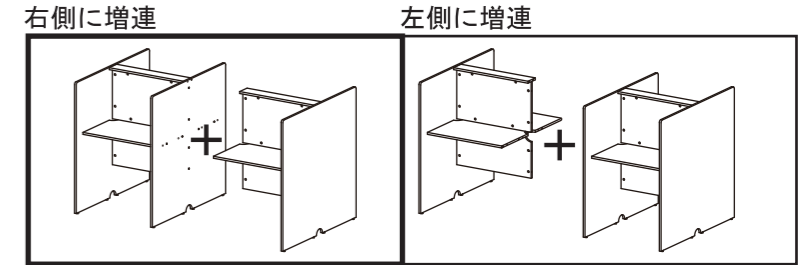
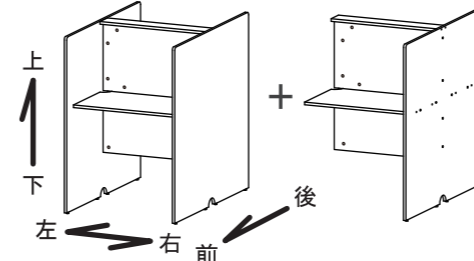
13で組み立てた増速用の本体を2人以上で慎重に起こしてください。
 8で増速側板の右面に回し入れたFジョイントシャフトを13で組み立てたB天板・C背板・D幕板の横穴に差し込んでください。その後、B天板・C背板・D幕板のカムロックを回して締めつけてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



本体のカムロックにG穴隠しシールを貼り付けます。
 その後、B天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



(2) 後日増速



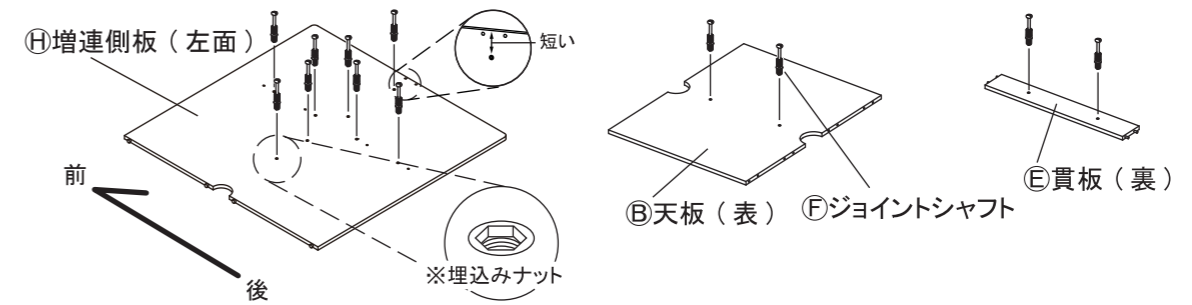
後日増速

部材一覧の「基本部材」をご参照ください。

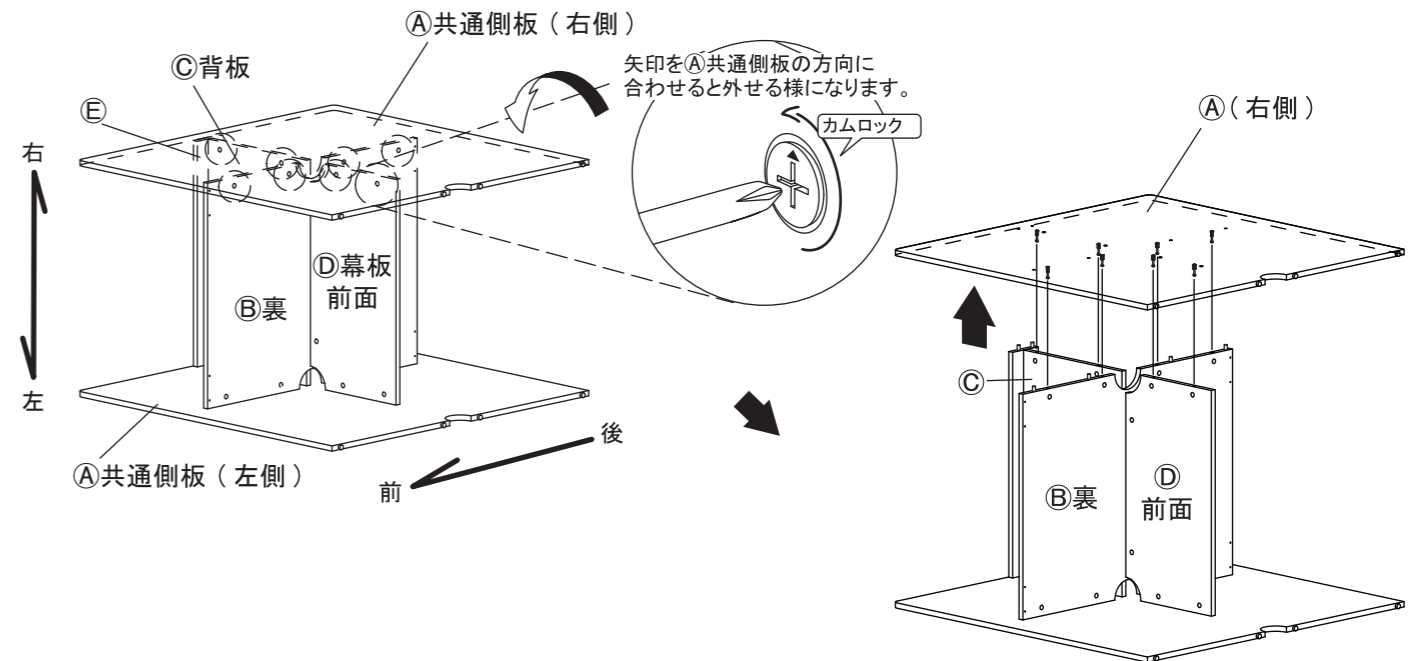
以下では、右側に増速するように組み立てを行います。
 左側にも増速が可能です。

1 増速台数分のB天板・E貫板・H増速側板（左面）にFジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

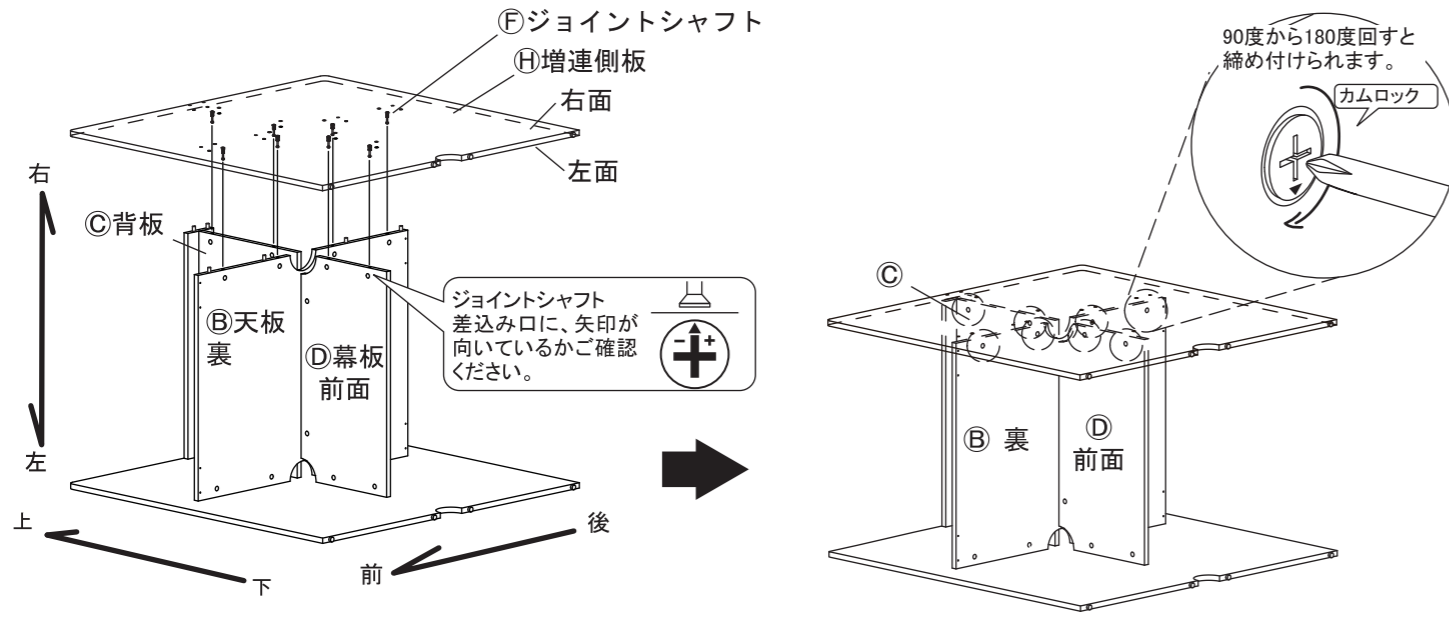
各H増速天板に回し入れるFジョイントシャフトは、左右の組み立て向きによって取り付け位置が異なりますのでご注意ください。



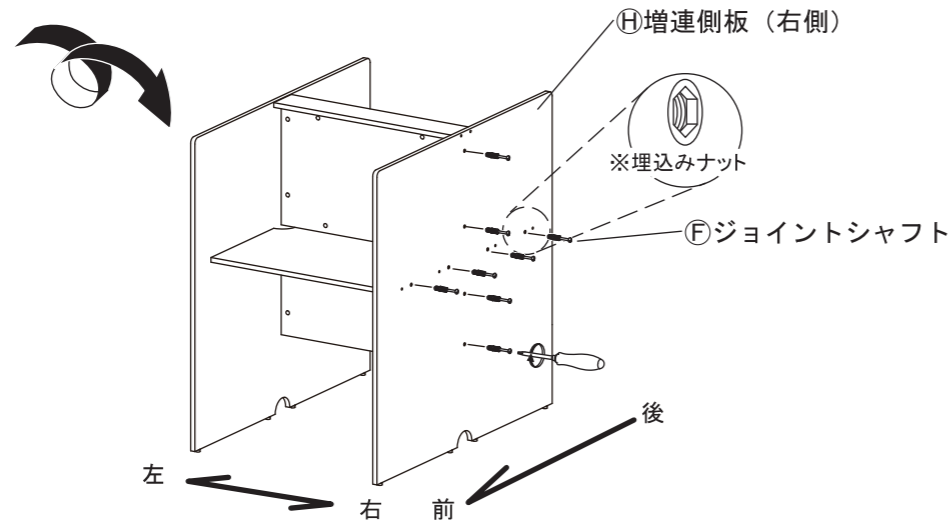
2 組み立て済みの本体から、A共通側板（右側）を外します。2人以上でC共通側板（右側）が上になるように倒してください。A共通側板（右側）に締め付けられているB天板・C背板・D幕板のカムロックを緩めてください。その後、A共通側板（右側）を外してください。



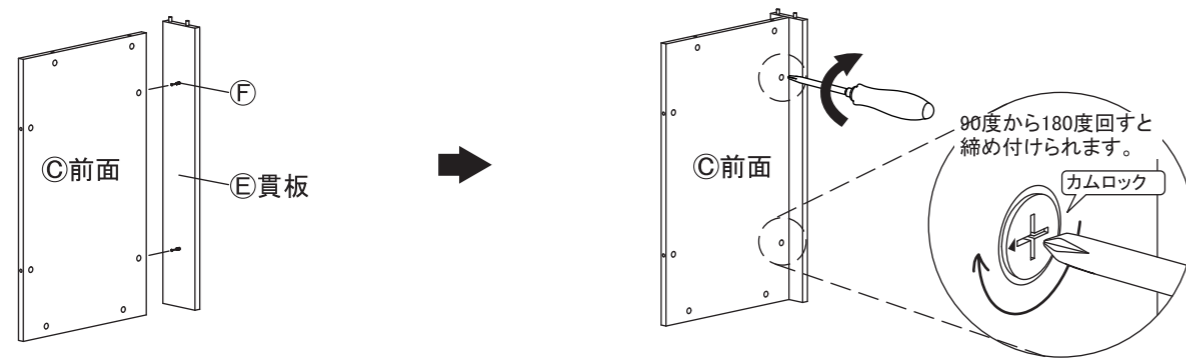
- 3** **2**で④共通側板を外した⑧天板・③背板・①幕板に⑨増連側板を取り付けます。
⑨増連側板の⑦ジョイントシャフトを⑧天板・③背板・①幕板の横穴に差し込んでください。
その後、カムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



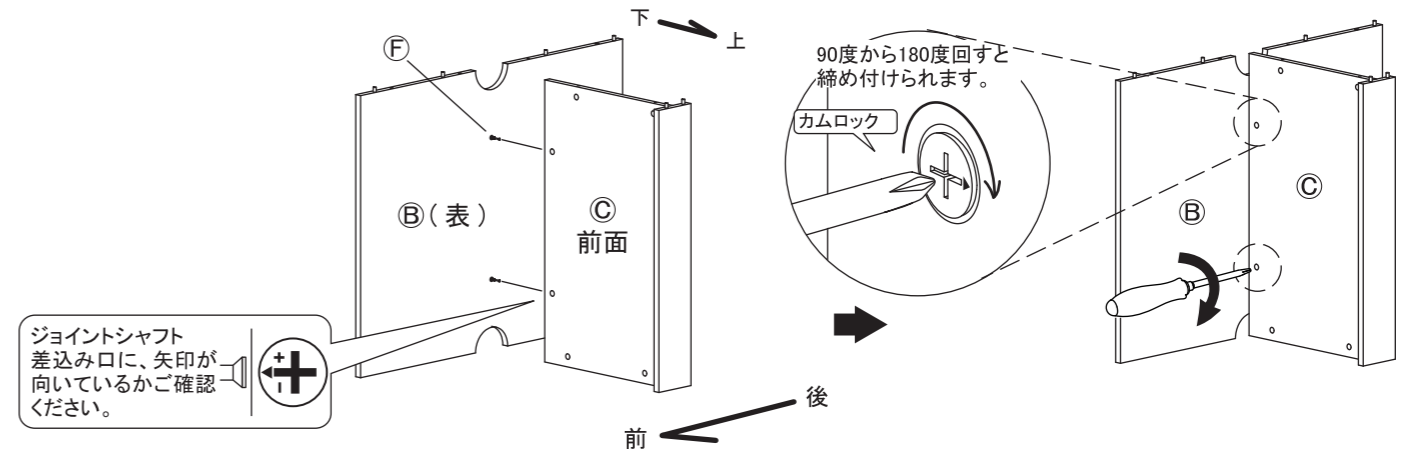
- 4** **3**で組み立てた本体を起こしてください。
その後、⑨増連側板に⑦ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



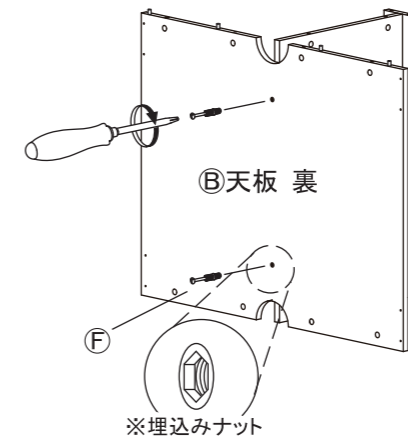
- 5** ⑤貫板の⑦ジョイントシャフトを③背板の横穴に差し込みます。
その後、③背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



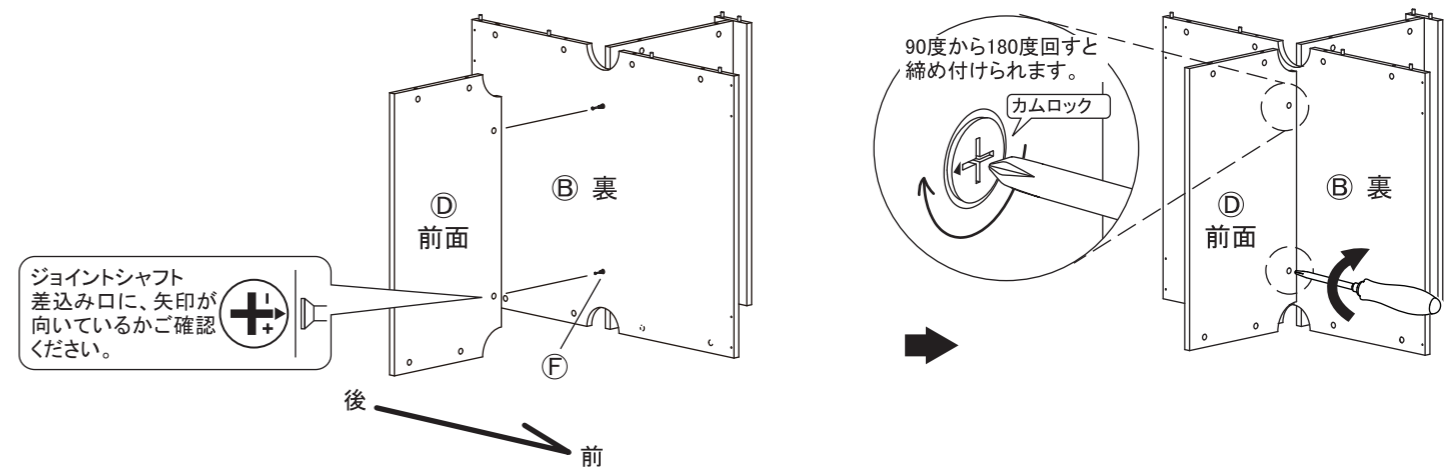
- 6** ⑧天板の⑦ジョイントシャフトを**5**で組み付けた③背板の横穴に差し込みます。
その後、③背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



- 7** ⑧天板の裏側に⑦ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

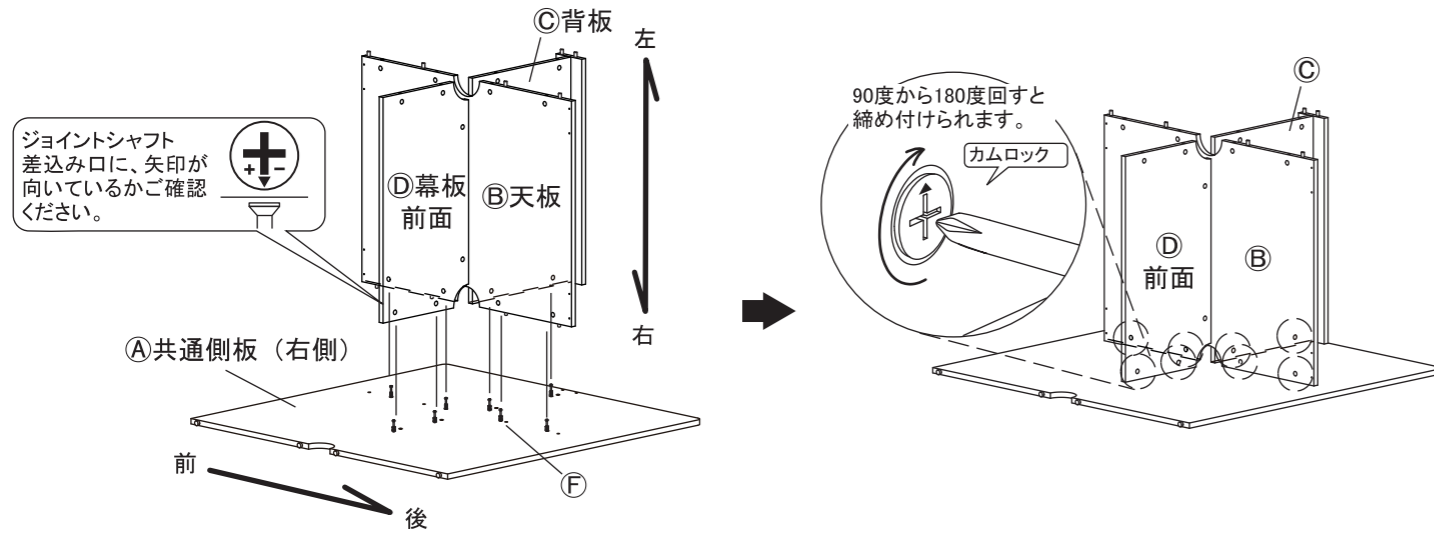


- 8** ⑧天板の⑦ジョイントシャフトを①幕板の横穴に差し込みます。
その後、①幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



①共通側板の⑥ジョイントシャフトを⑧で組み立てた②天板・③背板・④幕板の横穴に差し込んでください。その後、カムロックを回して締め付けてください。

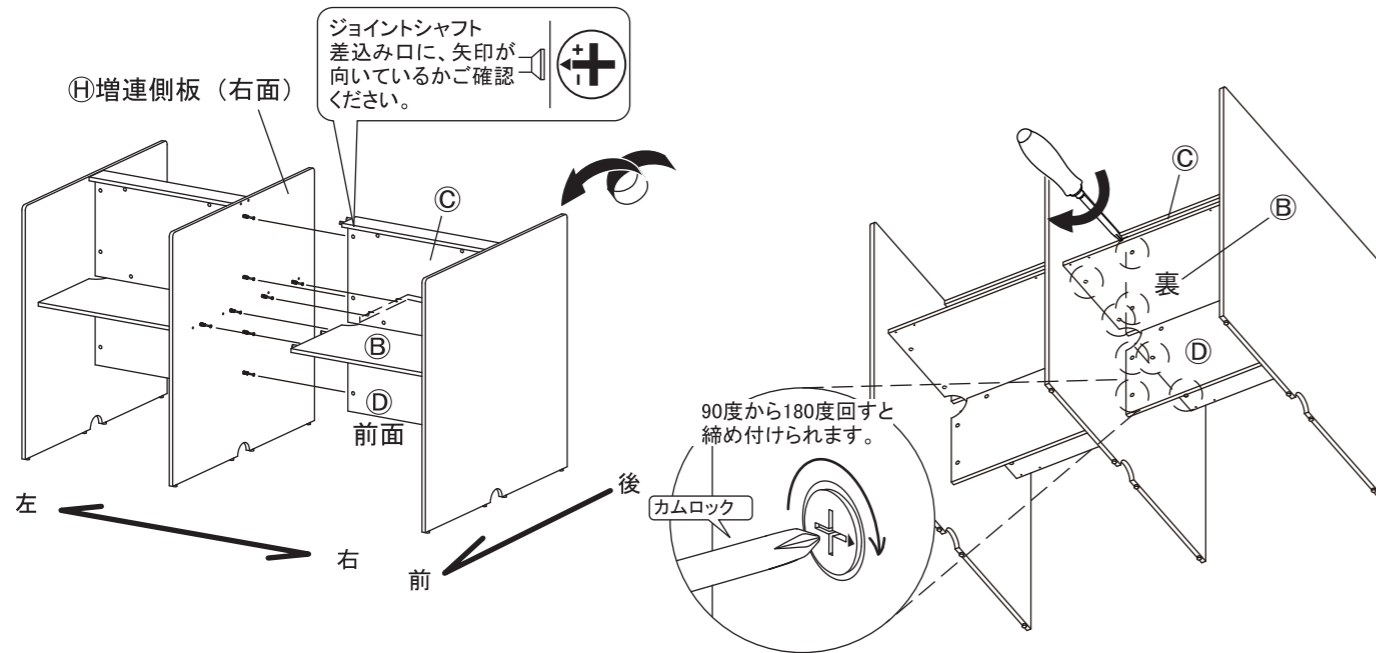
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



複数台増連する場合は、増連台数分の⑧～⑭の工程を繰り返してください。
複数台の時は、①共通側板ではなく⑭増連側板で組み立てを行ってください。

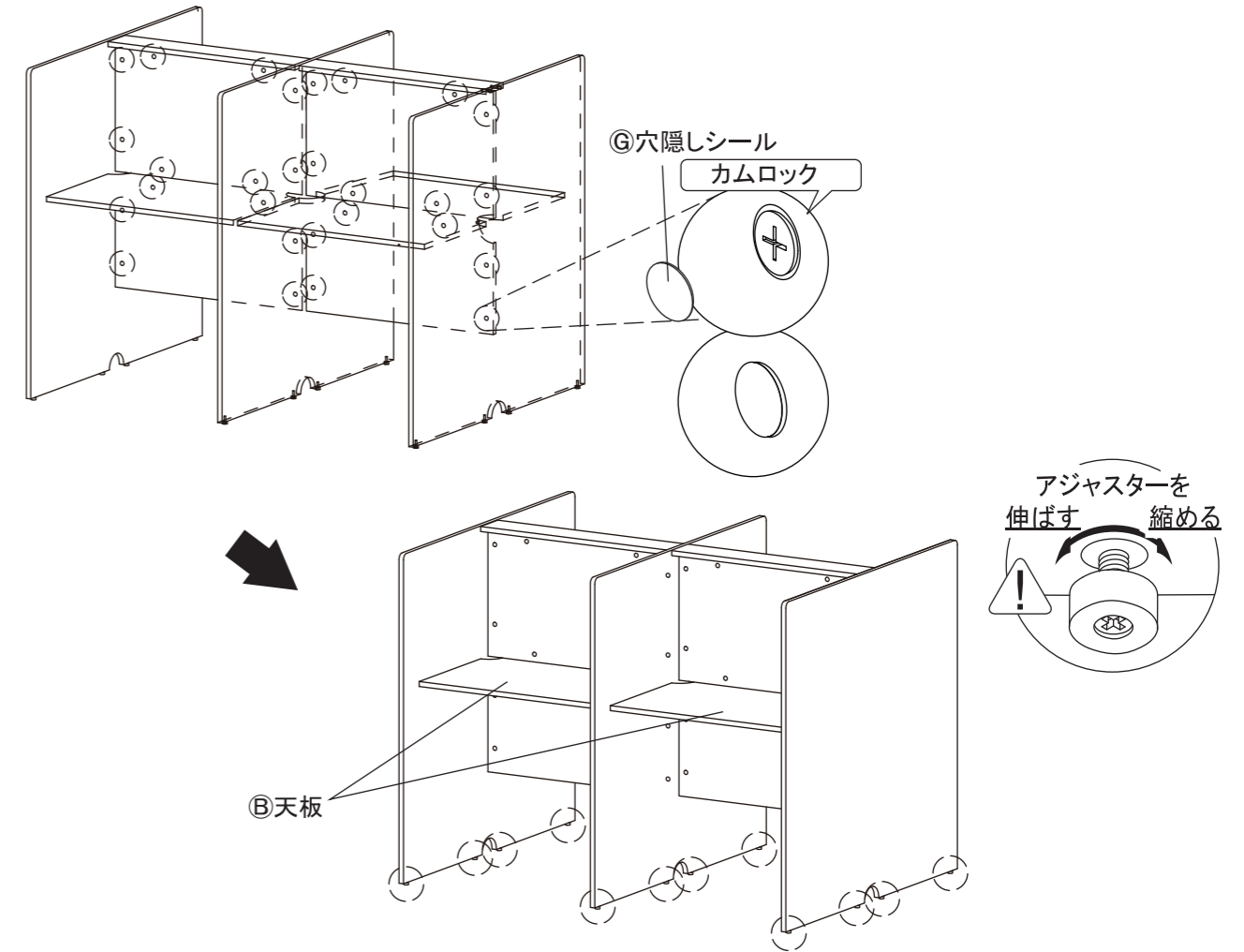
⑨で組み立てた増連用の本体を2人以上で起こしてください。
④で⑨増連側板の右面に回し入れた⑥ジョイントシャフトを⑨で組み立てた②天板・③背板・④幕板の横穴に差し込んでください。その後、②天板・③背板・④幕板のカムロックを回して締めつけてください。

■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



複数台増連する場合は、増連台数分の⑧～⑭の工程を繰り返してください。

本体のカムロックに⑩穴隠しシールを貼り付けます。その後、②天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



2ヶロコンセント(別売) 取付方法

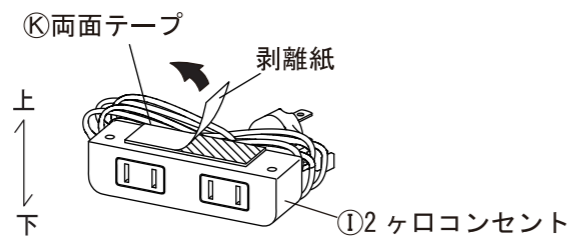
NC-1529-W(B)

本体を完成させたあと、「2ヶロコンセント(別売) 取付方法」へ進んでください。
2ヶロコンセント(別売)を2セット取り付けます。

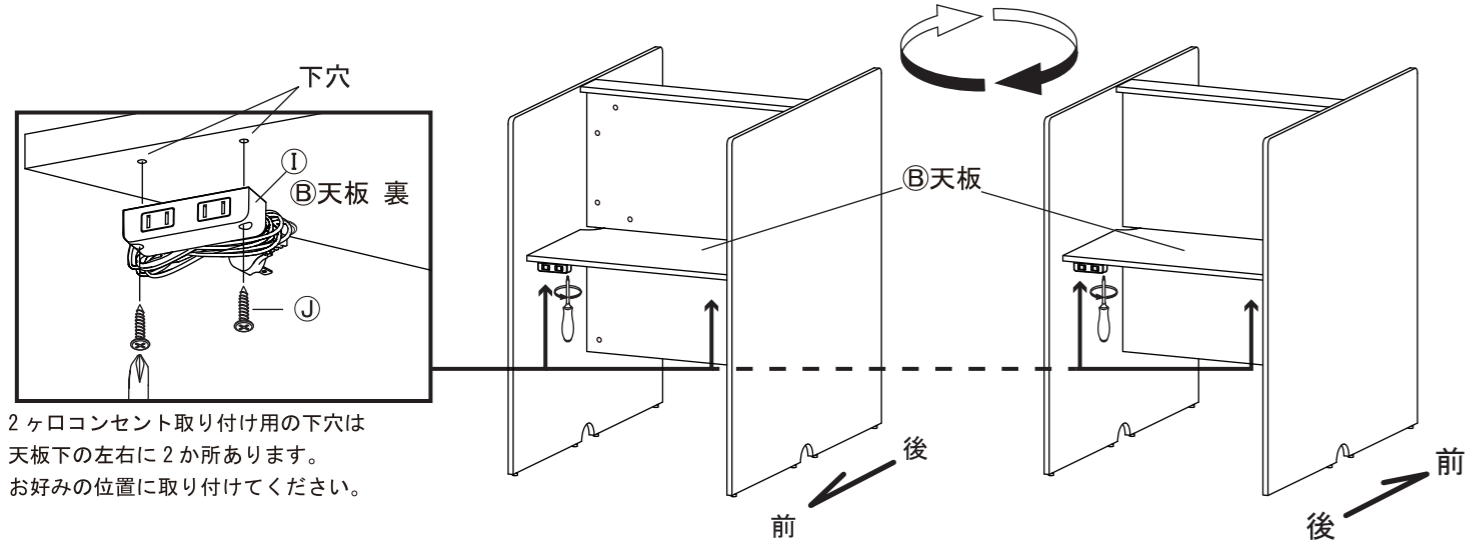
部材一覧 お買い上げ頂きありがとうございます。部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合はお手数ですがお電話にて部品名をご連絡ください。

① 2ヶロコンセント ×2	② 十字穴付き皿 タッピンねじ ×4 (M3×16)	③ 両面テープ ×2
<p>③両面テープが貼付済</p>		<p>①2ヶロコンセントに貼付済</p>

1 ①2ヶロコンセントに貼り付け済みの③両面テープの剥離紙をはがしてください。



2 ④天板の裏面に空いている下穴に合わせ、①2ヶロコンセント貼り付けます。
②十字穴付き皿タッピンねじで①2ヶロコンセントを組み付けてください。
その後、後ろ側の④天板の裏面にも同様に②十字穴付き皿タッピンねじで①2ヶロコンセントを組み付けてください。



2ヶロコンセント取り付け用の下穴は天板下の左右に2か所あります。お好みの位置に取り付けてください。

コンセントご使用上の注意

コンセントにプラグを抜き差しする際は、必ずコンセントと板面両方を抑えて水平に引き抜いてください。プラグを差し込んだ状態で上下左右に動かすとコンセントが外れ、板面から落下する恐れがあります。

取扱上の注意

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。
お読みになった後は大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。火災の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 商品に乗ったり腰をかけたたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- 商品を移動させる際は、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
- ご使用前にアジャスターを床に合わせ高さを調整してください。アジャスターの調整時は手や足を挟まないように気をつけてください。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する場合があります。その場合の責任は負いかねますのでご了承頂きますようお願いいたします。
- 商品を移動させる際には、コンセントをつなげたまま移動しないでください。

使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。破損することがあります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所での使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲液体物が付着した場合は、放置せずすみやかに拭き取ってください。化粧面が変色・変形する場合があります。
- ▲ご使用の環境により、床面にアジャスター・キャスター等の商品接触による変色や跡が付くことがあります。特にフローリングやクッションフロアでご使用の際はご注意ください。

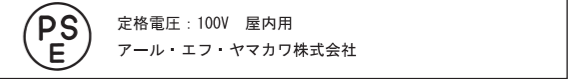
お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き取り、そのあと乾燥した布で水分を十分拭き取ってください。
- ◆中性洗剤で汚れが落ちない場合は、少し水を含ませたメラミンスポンジで擦り、そのあと、乾燥した布で水分を十分拭き取ってください。メラミンスポンジを使うと、表面の光沢感が変わる場合があるため、あらかじめ目立たない箇所でお試ください。
- ◆シンナー等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

組み立て方やお手入れに困ったら
アールエフヤマカワ お客様相談室



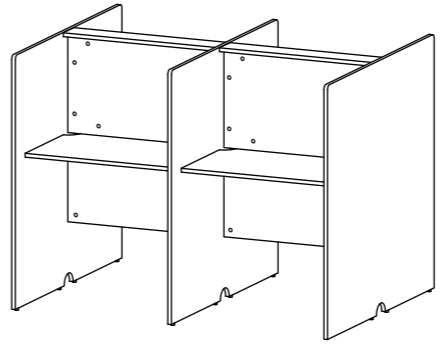
＜品質表示＞			
外形寸法 (mm)	幅	奥行	高さ
RFPCT-D (W) 12 (80) NA2-SP (T)	800	1200	1200
RFPCT-D (W) 12 (80) ADNA2-SP (T)	782	1200	1200
/NC-1529-W			
耐荷重	天板 1人分当たり 約25kg (均等荷重)		
材質	本体 合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)		
コンセント	合成樹脂		
アール・エフ・ヤマカワ株式会社 ☎0120-204-208			



商品チェック

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身の製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所とお客情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。



- チェック項目**
品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。
- 本体に破損や変色・変形は見当たらないか**
…異常を発見した場合はお問い合わせください。
 - カムロックは正常に締め付けられているか**
…別項「カムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 - 隙間やガタつきはないか**
…カムロックとジョイントシャフトが正常に締め付けられているかをご確認ください。
 - 完成図との相違は見当たらないか**
…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。

その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。		月曜日-金曜日(祝日を除く) AM9:00~PM5:00 アール・エフ・ヤマカワ株式会社 お客様相談室	
ご協力いただきありがとうございました。		☎0120-204-208 FAX 059-256-5333	
ご氏名		申込番号	
お電話番号		品名	RFPC ブース 対面タイプ
FAX番号		商品番号	
		お買上日	年 月 日
		お買上サイト名	